# 令和９年度
# 九州大学大学院システム生命科学府
# 修士課程学生募集要項
# （学部３年次在学生を対象とする特別選抜）

**※本入試の出願は，インターネット出願により行います。インターネット出願の方法等については，九州大学システム生命科学府ウェブサイトに掲載しています。**
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

## １．専攻及び募集人員

| 専　　攻 | 募集人員 | 専　門　分　野 |
|---|---|---|
| システム生命科学 | 若干名 | 生命情報科学<br>生命工学<br>生命医科学<br>生物科学 |

## ２．出願資格

令和９年３月３１日において大学に３年以上在学し、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと本学府が認めた者。

ただし、令和９年３月に大学を卒業見込みの者、既卒業者、外国における学校教育で１６年の課程を修了した者は対象としない。

## ３．出願資格の事前審査

出願資格については、次のとおり事前審査を行う。

（１）出願方法

願書を受理する前に出願資格の有無に関する審査を行うので、次により書類を取りそろえ、事前審査受付期間内にインターネット出願システムを利用して提出すること。

https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/

（２）事前審査に必要な書類

① 出願資格事前審査申請書（インターネット出願システムに必要事項を入力すること）
② 成績証明書（学部３年前期までの所定の単位（科目）の成績を証明したもの）
③ 在籍大学学部・学科の履修要項等
④ 推薦書（様式自由（※作成例参照のこと）学部長、学科長等が記入したもの）

（３）事前審査受付期間

令和８年１１月１７日（火）～令和８年１１月２０日（金）午後５時まで

（４）事前審査の通知

事前審査の結果は、令和８年１２月７日（月）までに本人宛に通知する。

## ４．選抜方法

（１）選抜は提出書類及び学力検査の結果により総合的な審査を行う。

（2）学力検査は筆記試験及び口述試験により行う。
英語については、受験者のTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績をもとに採点する。

## 5．学 力 検 査 科 目

| 専 門 分 野 | 試 験 科 目 | | 試 験 日 時 |
|---|---|---|---|
| 生命情報科学<br>生命工学<br>生命医科学<br>生物科学 | 英　　語<br>（筆記試験） | 令和７年2月以降に受験した<br>TOEIC Listening & Reading<br>Test又はTOEFL-iBTの<br>成績証明書をもとに採点する | ２月１日（月） |
| | 口述試験 | | |

※TOEIC・TOEFL に関する注意事項
①TOEIC Listening & Reading Test・TOEFL-iBT は、公式認定証が発行される正式な試験を受験すること。
（TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。）
②成績証明書は、受験者が自分に最も有利と考えるものを１部提出すること。
③令和７年２月以降に受験したTOEIC Listening & Reading Test又はTOEFL-iBTの成績証明書を提出すること。
④試験当日に成績証明書の原本を持参すること。願書と共に提出した成績証明書と異なる成績証明書の原本を持参した場合は，試験当日に提出した成績証明書をもとに採点する。
⑤成績証明書のコピーを提出していない者が，試験当日に成績証明書の原本を持参しなかった場合及び指定している試験以外の成績証明書を持参した場合は，筆記試験，口述試験の受験を認めず，不合格とする。

## 6．出 願 手 続

（1）出願方法
事前審査により出願資格の認定を受けた者は次に掲げる書類を取りそろえ、インターネット出願期間内に PDF にして、インターネット出願システムにアップロードすること。
① 出願手続は、インターネット出願システムへの入力により行います。
https://www.sls.kyushu-u.ac.jp/examinee/entrance_exam/
② インターネット出願システムへの入力期間は、**令和９年１月６日（水）午前１０時から、１月１２日（火）午後５時**までとします。
この期間までに，出願完了のボタンを押し、出願を完了させてください。出願完了のボタンを押さないと、出願が完了したことになりません。
また、出願完了のボタンを押す前に上記入力期間が過ぎた場合でも、出願は受け付けられませんので、注意してください。
③ 出願書類等に不備のあるものは受理しません。
④ 出願後は、出願の取下げ及び出願書類等の記載事項の変更を認めません。また、出願書類等及び入学検定料は、返還しません。
⑤ 願書受付締切り後の出願資格確認を経て、出願を受理した場合は、インターネット出願システムにより受験票を表示します。受験票の表示開始は登録したメールアドレスあてお知らせします。なお、受験にあたり必要な情報は登録したメールアドレス宛てにお送りしますので、出願時には確実に届くメールアドレスを正確に入力するとともに、出願後はメールをよく確認してください。
⑥ 受験票は、インターネット出願システムからダウンロードし、受験当日までに必ず印刷

しておいてください。

（2）提出書類

アップロードする書類は、明瞭なものとしてください。

| | 提出書類 | 留　意　事　項 |
|---|---|---|
| 1 | 入学願書 | インターネット出願システムに必要事項を入力してください。 |
| 2 | TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の成績証明書 | TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の公式の成績証明書であること。<br>（TOEIC IP, TOEFL ITP, TOEIC Speaking and Writing のスコアは認められない。）<br>令和７年２月以降に受験した TOEIC Listening & Reading Test 又は TOEFL-iBT の成績証明書を PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。<br>併せて、受験時に成績証明書の原本を持参すること。<br>また，TOEIC を受験した場合は，デジタル公式認定証を印刷したものを，紙媒体の認定証と同様に原本として受け付ける。<br>ただし,デジタル公式認定証に記載されている QR コードが読み取れない場合，書類不備とする可能性がある。 |
| 3 | 入学検定料<br>（検定料30,000円） | 入学検定料 30,000 円を次の方法により納入し、振込の控えを PDF にして､インターネット出願システムにアップロードすること。<br><br>【コンビニエンスストアによる支払いの場合】<br>・振込み方法の詳細については、「九州大学入学検定料払込方法」を確認すること。<br>・振込みを済ませたら、「入学検定料・選考料 取扱明細書」を PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。<br><br>【クレジットカードによる支払いの場合】<br>・振込み方法の詳細については、「九州大学入学検定料払込方法」を確認すること。<br>・振込みを済ませたら、「照会結果」を PDF にしてインターネット出願システムにアップロードすること。<br><br>※振込可能期間は、１２月１２日（土）～１月１２日（火）とするので留意すること。 |
| 4 | 在留カードの写し | PDFにして、インターネット出願システムへアップロードすること。※外国人在留者の志願者のみ提出。 |

## ７．　出願システムへの入力期間

令和９年１月６日（水）午前１０時から、１月１２日（火）午後５時まで

## ８．合　格　発　表

令和９年２月１２日（金）午前１０時に、九州大学伊都キャンパスウエスト１号館Ｃ棟２階のメインエントランスに掲示するとともに、合格者には本人宛にインターネット出願システムにて文書で通知する。また、大学院システム生命科学府のホームページ（https://www.sls.kyushu-u.ac.jp）にも合格者の受験番号を掲載する。（期間は２週間程度。）なお、電話等による問い合わせには一切応じない。

## ９．入 学 予 定 日

令和９年４月１日

## 10. 入学料及び授業料

入 学 料：２８２，０００円（予定）
授 業 料：２６７，９００円［年額５３５，８００円］（予定）

※ 上記の納付金額は予定額であり、入学時及び在学中に学生納付金改定が行われた場合は、改定時から新たな納付金額が適用されるので留意すること。

## 11. 注　意　事　項

（１）本出願資格により本学府に入学した者は、学部学生としての学籍上の身分は退学となり、学士の学位を取得しないまま、入学することとなる。そのため、各種国家試験等の受験資格で大学の学部卒業が要件となっているものについては、受験資格なしとなるので、留意すること。なお、学士の学位については、所定の要件を満した後、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」に申請を行うことにより、取得可能となる場合がある。
（２）願書受理後の記載事項の変更は認めない。また、検定料の払い戻しは行わない。
（３）試験会場等の詳細については、受験票案内時に通知する。
（４）本学府では、入学時に希望した指導教員を変更することは認められないため、受験する際には志望する「教育グループ」及び「指導教員」を熟考の上、決定すること。
（５）本学では、障害等のある者に対して、受験上及び修学上必要な配慮を行う場合があり、そのための相談を受け付けている。
受験上の配慮については、内容によって対応に時間を要することもあるので、出願前のできるだけ早い時期に理学部等教務課学生支援係まで、連絡すること。
（６）出願書類において虚偽の記載や偽造が発見された場合，または試験において不正行為があったことを示す明確な証拠が認められた場合は，合格後ならびに入学後においても遡って合格，及び入学を取り消すことがある。

## 12. 出願書類における個人情報の取り扱いについて

出願書類に記載の個人情報は、入学者選抜で利用するほか、次のとおり利用する。

１．合格者の住所・氏名等を入学手続業務で利用する。
２．成績証明書を、１年次における授業料免除等の就学支援業務で利用する。
３．出願書類に記載の個人情報を、個人が特定できないかたちで、本学における入学者選抜に関する統計調査・研究に利用する。

出願書類に記載の個人情報は，「個人情報の保護に関する法律」その他関連法令により認められる場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

【問合せ先】

〒819-0395　福岡県福岡市西区元岡７４４
九州大学理学部等教務課　学生支援係
（伊都地区ウエスト１号館Ａ棟３階３０５号室）
電 話 （０９２）８０２－４０１４
Ｆａｘ （０９２）８０２－４０１６
E-mail: rixgksien@jimu.kyushu-u.ac.jp

## 九州大学大学院システム生命科学府の学生受入方針について

（アドミッション・ポリシー）

**【求める大学院生像】**

生命関連科学は日進月歩の学問分野であり、基礎研究から広範な社会課題解決まで極めて広い領域をカバーして、健康かつ持続可能な社会構築に最も重要な学問領域である。大学院システム生命科学府システム生命科学専攻では、生命関連科学の分野で活躍できる高度専門人材を目指す大学院生として、

（1）生命を包括的に理解し社会の多様な要請に応えうる学際性を有する高度専門人材として、新しい研究開発やその実現を先導的、かつ柔軟に取り組める研究者・技術者となることを目指す姿勢
（2）グローバルな場面で活躍できる語学力やコミュニケーション能力
（3）領域の垣根を越え、他者と協力しながら課題解決に立ち向かう強い意思
（4）ライフサイエンスを支え、発展させる３つの要素（CMM：生命現象解明への好奇心と探究心、最新計測・解析技術が可能とする生命科学への新展開、健康・医療・バイオなど社会ニーズへの対応・貢献）のそれぞれに積極的に関与し、融合し、相乗効果を発揮できる基礎知識と態度

を有する学生を積極的に評価し、受け入れる。

**【入学者選抜との関係】**

入学選抜にあたっては、成績証明書や国際的に認知された英語試験の成績証明書等の提出書類に加え、専門試験、口頭試験を課し、（1）～（4）の資質を見る。

## 九州大学大学院システム生命科学府概要

〇修士課程の概要と教育の目的について

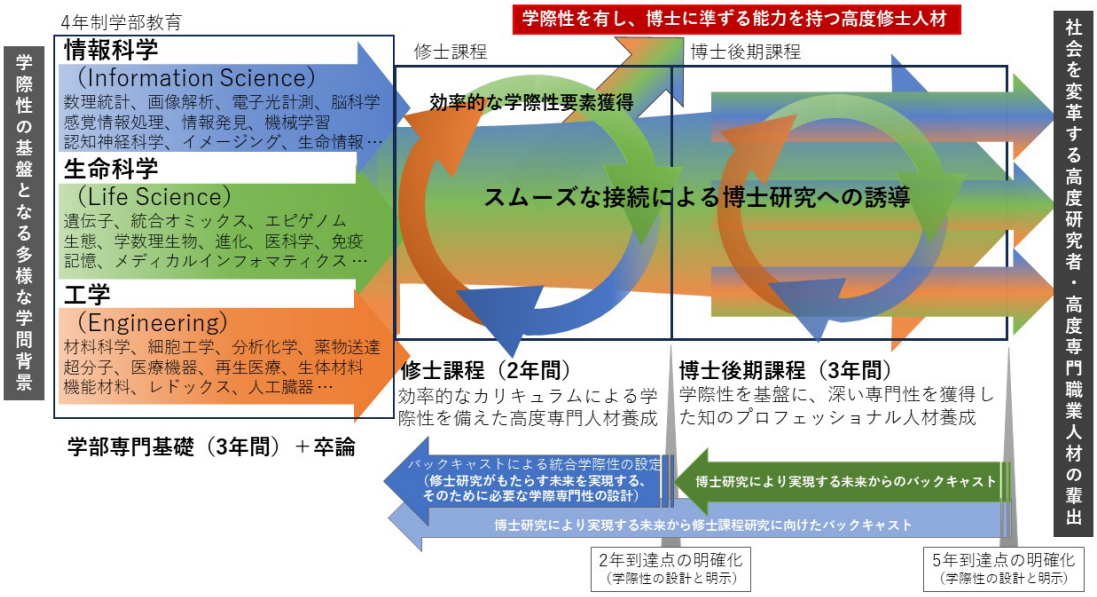
高度な科学技術の一般化に伴い、社会が要請する知のプロフェッショナル人材は多様な学際性と深い専門性を同時に備えることが求められ、現代の新規の産業や研究分野の創出のためには、専門性の深化と学際性の拡大を自ら意図して実行できる人材でなければならない。そのため、これまでの実績を活かしながら、異なる多様な分野の研究者が参画する大学院システム生命科学府の特徴を生かして、高度な学際性を効率的に獲得できるカリキュラムを設計し、生命科学を基軸に、それと一体となる種々のテクノロジーと情報科学を身につけ、多様な領域で活躍できる柔軟性を備えた広範な学際性を有する新たな高度専門人材育成システムを構築する。

具体的には、修士課程修了時の到達目標を引き上げ、修士論文研究では博士論文研究を強く意識したバックキャストに基づく研究テーマを設定し、目標達成に必要な学際性を効率よく修得させるカリキュラムデザインを行い、広範な学際性と高い専門能力を獲得させることで博士に準ずる力を持った高度修士人材を育成する。育成する高度修士人材は、博士段階にスムーズに接続させ、博士人材の質と数を確保する博士後期課程を、修士課程の完成年度以降に設置する（博士後期課程の設置は令和１０年４月を予定）。

- **多様性を活かす教育・研究環境の構築**：学際教育の実施を可能とする異分野研究者の参画により、異分野交流を活発化し、新たな科学領域と価値を生み出す力（価値創造力）を育成する。このような多様性を受け入れ、活用する力（インクルージョン力）を獲得し、将来に渡り持続的に成長でき、社会で活躍できる基盤を形成する。
- **広範な学際性と高い専門性の自律的な獲得**：博士論文の研究課題と目標を早期に設定し、博士論文の研究目標からバックキャストした修士論文研究計画に基づき必要な学際性要素を選択し、学部専門性を拡張する学際性を自らデザインすることで、要素が有機的に接続し、汎用的能力の基盤となる高度な学際性を備えた専門能力を獲得する企画力・実行力を養う。また、研究目標の達成に必要な学際性と高度な専門性を獲得し、課題解決能力とプロジェクト遂行力を

培う。

- **スムーズな博士研究への接続と博士後期課程進学者の増加**：修士課程入学後の早期に研究課題を発見し、博士論文研究をも構想させることで自らの研究到達点を設定する。その後、目標地点からのバックキャストによって修士論文研究計画を更新することで、博士に準ずる力を獲得させ、博士後期課程にスムーズに接続し、博士進学を促すことで、関連分野の博士後期課程進学に加え、将来の博士後期課程設置を見据え博士後期課程進学者を増加させる。




以上の「生命を包括的に理解し社会の多様な要請に応えうる生命科学者の育成」の理念に基づき、本学府は次の教育目的を掲げる。

・従来の生物学や医学の枠を越え、種々のテクノロジーやデータサイエンスなどの学問の多様性を有効に活用しつつ生命を包括的に理解でき、新しい知を追求できる人材、及び生命を正確に理解したうえで、健康、エネルギー、食糧問題など多岐にわたる社会課題を解決していける人材を育成する。
・生命科学関連における広い視野と分野横断型の素養を有する高度技術者を必要とする社会的要請に対応し、学際性の基軸となる生命科学を俯瞰的に理解しつつ、必要となる情報科学や工学などの異分野技術を駆使して、今後の種々の社会課題に独自の視点でアプローチできる研究を自主的に遂行できる高度専門人材を養成する。また、現実社会の課題の解決に、多様な分野の関わる人々との連携を構築しつつ自らの課題解決に取り組むことのできる実践力を併せて育成する。

こうした教育目的の下に、以下の能力を身につけた者に対し、九州大学学位規則に基づき、修士の学位を授与する。

・バックキャストによって課題を見出し、到達点を設定する力
・課題の解決に必要な学際性と専門性
・課題の解決に必要な手段を的確に導出・実行し、課題を解決する力

○人財の育成について

大学院システム生命科学府システム生命科学専攻は、高い倫理観の確立、生命科学関連分野に関する基本的な学び、専門性や学際的な多様性の涵養、研究活動の活性化による高度な学術的専門性の基盤獲得等を通して、広範な学際性と高い専門能力を修得できるカリキュラムを編成する。

このようなカリキュラム・ポリシーに基づき、ディプロマ・ポリシーを達成するため、生命の包括的理解と知の創造、得られる成果の社会還元という広範にわたる生命関連科学の在り方に関し、従来の医学、薬学、理学、農学、工学、情報科学という枠組みの中に混在していた内容を、互いに関連する４つの領域（生命情報科学、生命工学、生命医科学、生物科学）として捉え直し、それぞれの対象領域をカバーするカリキュラムの基礎的な単位となる４つの「コース」（生命情報科学コース、生命工

学コース、生命医科学コース、生物科学コース）を設定し、学生はいずれかのコースを選択する。

カリキュラム・マップでは、この４つの「コース」におけるカリキュラムの共通形を表している。また、コースごとに次のとおり掲げる学問分野を中心として学際導入科目、学際専攻科目を提供し、コース内の専門性深化とコース間の異分野交流と学際性の拡張に基づいた修士論文研究を行う。

・生命情報科学コース：生命情報計測、情報科学、脳情報科学
・生命工学コース：細胞工学、医用工学、機能材料
・生命医科学コース：分子細胞医科学、情報医科学
・生物科学コース：分子細胞生物学、生命制御生物学、多様性生物学

<table>
<tr><th>到達目標</th><th>科目区分<br>（必要単位数）</th><th>修士１年<br>第１Q</th><th>修士１年<br>第２Q</th><th>修士１年<br>第３Q</th><th>修士１年<br>第４Q</th><th>修士２年<br>第１Q</th><th>修士２年<br>第２Q</th><th>修士２年<br>第３Q</th><th>修士２年<br>第４Q</th></tr>
<tr><td>生命科学研究に関係する研究倫理を身につけ、適切な手法や考え方を用いて研究活動を行えるようになる。</td><td>必修基礎科目<br>（1単位）</td><td>「生命倫理学」</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>生命工学、生命情報科学、生物科学、生命医科学の複数の分野にまたがる専門的知識を基礎から先端分野まで系統的に修得することで、分野融合的、分野横断的な研究に主体的に取り組めるようになる。</td><td>学際開拓科目<br>（11単位以上）</td><td colspan="4">「学際導入科目」<br>「学際専攻科目」</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自らの専門とする研究の目的や成果を異分野の研究者や大学院生に分かりやすく説明し、分野を越えた科学的議論や意見交換が行えるようになる。</td><td>異分野交流科目<br>（3単位）</td><td></td><td></td><td>「学際開拓科目創成セミナーⅠ」</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>「学際開拓科目創成セミナーⅡ」</td></tr>
<tr><td rowspan="2">自ら定める専門分野における未解明の問題や未解決の課題を探索、設定し、合理的な研究アプローチを用いて研究課題の解明、解決に取り組み、研究成果を修士論文としてとりまとめることができるようになる。</td><td rowspan="2">研究科目<br>（15単位）</td><td>「研究設計演習Ⅰ」</td><td></td><td></td><td>「研究企画提案演習」</td><td>「研究設計演習Ⅱ」</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="8">「特別演習」「特別研究」</td></tr>
</table>

教育研究内容一覧

| 専門分野 | 担当教員名 | 研究内容 |
|---|---|---|
| 生命情報科学 | 教　授　鈴木　英之進<br>教　授　内田　誠一<br>教　授　興　雄司<br>教　授　備瀬　竜馬<br>教　授　平川　英樹<br>教　授　ヨハン　ローレンス<br>准教授　吉田　寛<br>准教授　金子　美樹<br>准教授　岡本　剛<br>准教授　手老　篤史<br>准教授　佐々　文洋<br>准教授　上野（姜）益俊 | 情報科学，統計科学の理論体系を駆使して，ゲノム解析ならびに生命の基本原理解析に関する教育研究を行うことによって，生命機能の解明とその医療応用を目指す。そのため，体系化された生命情報データベースを基にして，知識発見，学習機能，推論機能，センシング，モデリング，モデル化・シミュレーションのためのアルゴリズム開発手法とそのプログラミング技術，それらを統合した高速・高効率・高信頼で実行可能な統合計算機システムの構築と運用方法について教育研究する。 |
| 生命工学 | 教　授　＊　上平　正道<br>教　授　森　健<br>教　授　石田　謙司<br>教　授　工藤　奨<br>教　授　荒田　純平<br>教　授　片倉　喜範<br>准教授　水本　博<br>准教授　沼田　倫征<br>准教授　合志　憲一 | 動物培養細胞を利用した有用タンパク質等の生産理論の確立，抗老化・抗生活習慣病を目指した新規創薬・機能性食品の分子設計に関する教育研究を行う。また，細胞・生体組織の力学的・熱工学的挙動の解明や培養技術の開発，各種再生臓器に必要な生体親和性・生分解性に富む高分子材料ならびに生体用バイオセラミックス，複合材料の開発および人工臓器の開発のための教育研究を行う。さらに，分子レベルでの治療を可能とするナノテクノロジー技術，バイオイメージング，ナノ診断，光応用診断などの先端生体計測の開発と複雑系的手法を取り入れた生命システム解明に関する教育研究を行う。 |
| 生命医科学 | 教　授　＊　近藤　久雄<br>教　授　池ノ内　順一<br>教　授　須山　幹太<br>教　授　久保田　浩行<br>教　授　大川　恭行<br>教　授　原田　哲仁<br>教　授　落合　博<br>教　授　稲葉　謙次<br>教　授　長﨑　正朗<br>教　授　胡桃坂　仁志<br>教　授　斎藤　典子<br>准教授　馬場　崇<br>准教授　柴田　弘紀<br>准教授　渡部　聡<br>講　師　松沢　健司 | ヒトのゲノム情報から見た，生物学的多様性の解析，生体維持機構の解析，多因子性疾患・難治性疾患の病因・病態解析，治療・予防法の開発等を行うために，ヒト生物学に関する膨大なデータと医学的知識を統合し，ゲノム科学を基礎に据えた情報科学，工学，生物資源科学との有機的な連携を図ることによって，疾患感受性や正常形質などのヒトの個体差に関わる重要問題を解明するための教育研究を行う。 |
| 生物科学 | 教　授　齋藤　大介<br>教　授　祢宜　淳太郎<br>教　授　田村　茂彦<br>教　授　＊＊　石原　健<br>教　授　高橋　達郎<br>教　授　立田　晴記<br>教　授　濱村　奈津子<br>教　授　松尾　直毅<br>教　授　佐竹　暁子<br>教　授　太田　訓正<br>教　授　手島　康介<br>教　授　吉村　成弘<br>准教授　寺本　孝行<br>准教授　青木　佳南<br>准教授　藤原　学<br>准教授　＊　仁田坂　英二<br>准教授　伊藤　太一<br>准教授　細川　貴弘<br>准教授　佐々木江理子<br>准教授　早川　敏之<br>准教授　新垣　誠司<br>講　師　熱田　勇士<br>講　師　林　良樹<br>講　師　中條　信成<br>講　師　山脇　兆史<br>講　師　楠見　健介 | 高等生物の基本的な生命現象を解明するために，動物及び植物の基本構造単位である真核細胞について，ゲノム遺伝子の発現制御，タンパク質の生合成・構造・機能制御，細胞内顆粒の動的存在状態と制御，細胞としての統合，細胞間の相互作用等について教育研究する。さらに，高次生命現象としての発生，分化，代謝，神経システムの働き，遺伝子から見た行動，学習，外部環境への適応等について縦断的な教育研究を行う。<br><br>動物の環境からの情報受容と応答，植物の光などの環境情報の受容と応答，個体の繁殖・社会生態等にみられるさまざまな適応戦略，海洋などの群集を対象とした群集構造の成立と存続，集団遺伝学的手法を用いた遺伝子レベルでの進化や多様性維持機構，さらにはこのような複雑な生命現象の数理生物学的解析などについて，分子・細胞・個体・集団の各レベルを統合した教育と研究指導を行う。これらの教育研究により，動植物の環境への応答メカニズム，生態学的手法に基づいた生物と環境との相互作用，進化的視点に基づいた生物多様性維持機構などの先端的研究に貢献できる人材を養成する。 |

＊は２０２８年３月末日定年退職予定

＊＊は２０２９年３月末日定年退職予定

| | 教育グループ | 教 員 名 | 研究キーワード |
|---|---|---|---|
| 生命情報科学 | 生命情報発見学 | 教　授・鈴木　英之進 | データマイニング，機械学習，発見ロボット<br>https://www.i.kyushu-u.ac.jp/~suzuki/suzuki-j.html |
| | | 准教授・吉田　寛 | 多変数多項式，多項式生命モデル/Polynomial-life model,<br>動的恒常性維持,再生場の理論 |
| | 生命情報処理学 | 准教授・岡本　剛 | 脳神経科学，生体医工学，フューチャー・デザイン<br>https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~okamoto/ |
| | | 准教授・金子　美樹 | 生体情報計測，生体センサ，人間情報科学，生体情報処理，健康情報学，生体医工学<br>https://www.isee.kyushu-u.ac.jp/laboratory_ist.html |
| | 生命情報数理学 | 教　授・内田　誠一 | バイオイメージインフォマティクス，画像情報学，パターン認識，機械学習，実データ解析<br>https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/ |
| | | 教　授・備瀬　竜馬 | 画像認識、バイオ医療画像解析、機械学習、数理最適化<br>https://human.ait.kyushu-u.ac.jp/~bise/index-en.html |
| | | 准教授・手老　篤史 | 数理モデル，行動制御，認識，単細胞，研究者学 |
| | 生命情報電子工学 | 教　授・興　　雄司 | バイオ光センシング，レーザー，光機能材料，分光分析計測<br>https://www.laserlab.ed.kyushu-u.ac.jp/ |
| | | 准教授・佐々　文洋 | マイクロロボット、BioMEMS、動く電子回路、微小生化学センサ、細胞操作・培養マイクロデバイス<br>https://biomicro.ed.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 生命情報解析学 | 教　授・平川　英樹 | ゲノム、トランスクリプトーム、多型、アノテーション、<br>バイオインフォマティクス<br>https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/mogt/study.html |
| | 認知神経科学 | 教　授・ﾖﾊﾝ ﾛｰﾚﾝｽ | 意思決定，認知科学，生命倫理，視覚的認知，行動分析<br>https://dubitopress.blogspot.jp/ |
| | 生態毒性モニタリング・政策科学 | 准教授・上野（姜）　益俊 | バイオセンチネル、生体音響・行動解析、生態毒性モニタリング、水の安全保障、環境政策提言 |

| | 教育グループ | 教 員 名 | 研究キーワード |
|---|---|---|---|
| 生命工学 | 生命プロセス工学 | 教　授・上平　正道 | 医用生体工学，組織工学，遺伝子工学，ウイルス工学，<br>トランスジェニック動物<br>https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab3/index.html |
| | | 准教授・水本　博 | ハイブリッド型人工肝臓，再生医療，幹細胞，細胞組織体，<br>動物細胞培養<br>https://www.chem-eng.kyushu-u.ac.jp/lab6/sls/ |
| | 生体医工学 | 教授・森　健 | 医療材料、医用化学、薬物送達システム<br>https://sites.google.com/view/mori-lab |
| | 生命物理工学 | 教　授・石田　謙司 | 有機/高分子超薄膜、フレキシブルデバイス、触覚・赤外線センサ、生体発電<br>https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/ |
| | | 准教授・合志 憲一 | 有機薄膜、有機半導体、有機光機能性材料、有機レーザー<br>https://www.qpn.ap.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 生体機能工学 | 教　授・工藤　奨 | バイオメカニクス，バイオトランスポート，<br>バイオマテリアル，細胞力学<br>https://www.bfe.mech.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 先端医療デバイス | 教　授・荒田　純平 | 機械工学，ロボット工学，メカトロニクス，<br>医療ロボット，遠隔操作ロボット<br>https://amd.mech.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 細胞制御工学 | 教　授・片倉　喜範 | アンチエイジング食品，抗老化，食品機能，動物細胞工学<br>https://www.agr.kyushu-u.ac.jp/lab/crt/ |
| | 構造分子生物学 | 准教授・沼田　倫征 | CRISPR-Cas系，非コードRNA，<br>トキシン-アンチトキシン系，DNAの複製と修復 |

| | 教育グループ | 教 員 名 | 研究キーワード |
|---|---|---|---|
| 生命医科学 | 細胞工学 | 教　授・近藤　久雄 | 細胞内小器官（オルガネラ）の形成と維持，オルガネラの細胞周期変化，細胞内膜融合，小胞体とゴルジ体，オルガネラの試験管内再構成系<br>https://www.cellbiology.med.kyushu-u.ac.jp/Kondo-Lab.html |
| | 細胞生物学 | 教　授・池ノ内　順一 | 上皮細胞、細胞接着構造、細胞膜、がん、上皮間葉転換<br>https://www.lab.med.kyushu-u.ac.jp/biochemistry/ |
| | | 講 師・松沢 健司 | 細胞接着，集団細胞運動，細胞間コミュニケーション，シグナル伝達<br>https://www.lab.med.kyushu-u.ac.jp/biochemistry/ |
| | 性差生物学 | 准教授・馬場　崇 | 核内受容体による代謝制御，雌雄生殖腺の発生，クロマチン構造の性差<br>https://www.med.kyushu-u.ac.jp/seisaseibutu |
| | マルチオミクス | 教 授・原田 哲仁 | マルチオミクス、シングルセル解析、空間オミクス<br>https://tx.bioreg.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 情報生物学 | 教　授・須山　幹太 | バイオインフォマティクス，情報生物学，遺伝子発現制御，がんゲノム，疾患ゲノム，エピゲノム，分子進化<br>https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/bioinfo/ |
| | ゲノム医科学 | 准教授・柴田　弘紀 | 人類遺伝学，集団遺伝学，進化医学，ゲノム多様性，精神・神経疾患<br>https://www.gen.kyushu-u.ac.jp/~byouin/ |
| | 統合オミクス | 教　授・久保田　浩行 | 統合オミクス，システム生物学，数理モデル，計算機シミュレーション，ホメオスタシス，シグナル伝達，代謝<br>https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/omics/ |
| | トランスクリプトミクス | 教　授・大川　恭行 | エピゲノム，エピジェネティクス，転写，遺伝子発現制御，細胞分化，トランスクリプトミクス，クロマチン，ゲノム，バイオインフォマティクス，骨格筋分化<br>https://tx.bioreg.kyushu-u.ac.jp/ |
| | 遺伝子発現動態学 | 教　授・落合　博 | 転写動態，遺伝子，ゲノム高次構造，多能性幹細胞、生細胞イメージング、空間マルチオミクス<br>https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/ged/ |
| | トランススケール構造生命科学 | 教　授・稲葉　謙次 | タンパク質品質管理，レドックス，カルシウム，亜鉛，膜トランスポーター、クライオ電子顕微鏡、超解像顕顕微鏡<br>https://www.bioreg.kyushu-u.ac.jp/labo/tssls/index.html |
| | | 准教授・渡部　聡 | カーゴ受容体、シャペロン、金属タンパク質、膜タンパク質、クライオ電子顕微鏡　結晶構造解析 |
| | バイオメディカル情報解析分野 | 教　授・長﨑　正朗 | メディカルインフォマティクス、空間オミクス情報解析、大規模ゲノムコホート解析、ヒトゲノム情報解析、ヒトオミクス情報解析、システム生物学、ハイブリッド量子計算、大規模言語モデル、長鎖型シークエンス解析、大規模情報解析<br>https://nagasakilab.csml.org/ |
| | クロマチン構造機能 | 教授・胡桃坂 仁志 | クロマチン構造、エピゲノム制御、ヌクレオソーム、三次元ゲノム |
| | がんゲノム制御学 | 教授・斉藤 典子 | 三次元ゲノム構造、エピゲノム制御、がん分子病態 |

| | 教育グループ | 教 員 名 | 研究キーワード |
|---|---|---|---|
| 生物科学 | 動物発生生物学 | 教　授・齋藤　大介 | 発生生物学，始原生殖細胞，生殖工学，鳥類，細胞移動<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/ |
| | | 講　師・熱田　勇士 | 四肢発生，リプログラミング，3次元培養，胸骨発生<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment/ |
| | | 講　師・林　　良樹 | 発生生物学、生殖系列、幹細胞、エピゲノム、細胞内代謝<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~animaldevelopment |
| | 細胞機能学 | 准教授・寺本　孝行 | 線虫*C. elegans*，神経ネットワーク，蛍光イメージング，カルシウムイオン，マグネシウムイオン<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/ |
| | | 講　師・中條　信成 | 発生生物学，アフリカツメガエル，細胞周期<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/ |
| | | 講　師・山脇　兆史 | 昆虫，カマキリ，運動制御，神経行動学，神経回路<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~funccell/ |
| | 植物分子生理学 | 教授・祢宜　淳太郎 | 順遺伝学，気孔，陰イオンチャネル，転写因子，葉緑体,シロイヌナズナ<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plant/ |
| | | 講 師・楠見 健介 | イネ，植物生理，環境応答，形態形成，葉緑体，CO2，ゲノム編集<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plant/ |
| | 個体細胞動態学 | 准教授・青木　佳南 | 細胞接着，シグナル伝達，細胞骨格，組織形態形成 |
| | 分子細胞生物学 | 教　授・田村　茂彦 | ペルオキシソーム欠損症，タンパク質複合体，病因遺伝子，オルガネラ恒常性，プロテインキネシス<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~molcellbiol/ |
| | 生体高分子機能学 | 教 授・吉村 成弘 | タンパク質科学、生体高分子、がん、天然変性タンパク質、液-液相分離、細胞周期制御 |
| | 分子遺伝学 | 教　授・石原　健 | 線虫*C. elegans*，行動遺伝学，情報処理の分子メカニズム，嗅覚と行動可塑性，体内環境による行動制御<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~bunsiide/ |
| | | 准教授・藤原　学 | 行動，神経可塑性，感覚回路，遺伝学，<br>カルシウムイメージング，光遺伝学，線虫 |
| | 染色体機能学 | 教　授・高橋　達郎 | DNA修復，クロマチン，ミスマッチ修復，染色体接着，相同組み換え，染色体複製，ツメガエル<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~chromosome/ |
| | 植物多様性ゲノム学 | 准教授・仁田坂　英二 | アサガオ，形態形成，トランスポゾン，ナショナルバイオリソースプロジェクト，系統保存，遺伝学，変異体<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~plantgenomics/ |

| | 教育グループ | 教 員 名 | 研究キーワード |
|---|---|---|---|
| 生物科学 | 時間生物学 | 准教授・伊藤　太一 | 時間生物学，概日リズム，時計遺伝子，体内時計，睡眠<br>https://www.artsci.kyushu-u.ac.jp/~chronobiology/ |
| | 生態科学 | 教　授・立田　晴記 | 進化生態学，生物測定学，生物多様性，<br>野生生物の保全管理，種分化，系統地理，行動<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~ecology/lab/ |
| | | 教　授・濱村　奈津子 | 微生物生態学，微生物地球科学，微生物多様性進化，<br>バイオレメディエーション，微生物ヒ素代謝，<br>メタゲノミクス<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~microecol/ |
| | | 准教授・細川　貴弘 | 進化生物学、行動生態学、昆虫学、微生物学、共生 |
| | 行動神経科学 | 教　授・松尾　直毅 | マウス，記憶・学習，神経回路，シナプス可塑性，<br>遺伝子工学，行動解析，神経活動イメージング<br>https://biology.kyushu-u.ac.jp/neuroscience/ |
| | 数理生物学 | 教　授・佐竹　暁子 | 生態，環境，進化，数理，ゲノム<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~satake/ |
| | | 准教授・佐々木　江理子 | 量的遺伝学，ゲノム多様性，エピゲノム，環境，適応進化，<br>モデル植物<br>https://bio-math10.biology.kyushu-u.ac.jp/member/sasaki.html |
| | 幹細胞生物学 | 教　授・太田　訓正 | 幹細胞，ニッチ，多能性，リボソーム，Tsukushi，Akhirin<br>https://kyushu-stemcellbiology.com/ja/ |
| | 進化遺伝学 | 教　授・手島　康介 | 集団遺伝，集団ゲノム，分子進化，ゲノム多様性，集団史，<br>適応進化，バイオインフォマティクス，シミュレーション<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/ |
| | | 准教授・早川　敏之 | 人類進化，ヒト化の分子基盤，糖鎖，霊長類，精神疾患，<br>進化医学<br>https://www.biology.kyushu-u.ac.jp/~kteshima/ |
| | 海洋生物学 | 准教授・新垣　誠司 | 生態学，群集，多様性，沿岸生態系，魚類，潮間帯，サンゴ<br>http://ambl-ku.jp/ |

# 九州大学　入学検定料払込方法

## 1 Webで事前申込み

**画面の指示に従って必要事項を入力し、お支払いに必要な番号を取得。**

**https://e-shiharai.net/**



※番号取得後に入力ミスに気づいた場合はその番号では支払いを行なわず、
もう一度入力し直して、新たな番号を取得してお支払いください。
支払い期限内に代金を支払わなかった入力情報は、自動的にキャンセルされます。

※クレジットカード・銀聯ネットは決済完了後の修正・取消はできません。
申込みを確定する前に、内容をよくご確認ください。

※確定画面に表示される番号をメモしてください。➡



## 2 お支払い

### セブン-イレブン
【払込票番号:13ケタ】

●レジにて
「インターネット支払い」と
店員に伝え、印刷した【払込票】
を渡すか、【払込票番号】を
伝えてお支払いください。

マルチコピー機は使用しません

### ファミリーマート
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

マルチコピー機へ
↓
代金支払い
↓
番号入力画面に進む
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

### ローソン・ミニストップ
【お客様番号:11ケタ】【確認番号:4ケタ】

Loppi へ
↓
各種サービスメニュー
↓
各種代金・インターネット受付
↓
各種代金お支払い
↓
マルチペイメントサービス
↓
【お客様番号】【確認番号】入力

**レジで代金を支払い、「入学検定料・選考料取扱明細書」を受け取ってください。**

### ペイジー対応ATM
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

「税金・各種料金(ペイジー)」
を選択
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
支払方法を選択
(現金またはキャッシュカード)し、
検定料をお支払い

### ペイジー対応ネットバンク
ゆうちょ、みずほ、三井住友、りそな銀行他

ネットバンキングにログインし、
「税金・各種料金の払込（ペイジー）」
をクリック
↓
収納機関番号に【58021】と入力
↓
【お客様番号】【確認番号】を入力
↓
画面上で金額を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

### ネット専業銀行
楽天、auじぶん、PayPay銀行他

お申し込み確定画面から
『ネットバンクでの支払い』
をクリック
↓
支払う銀行を選択して、
インターネットバンキングにログイン
※一度、ブラウザを閉じてしまった場合は、E-支払いサイトの「申込内容照会」からログインしてください。
その際には、11ケタのお客様番号が必要です。
↓
払込内容を確認し、
検定料をお支払い（口座引落扱い）

VISA　　
　

※お支払いされるカードの名義人は、
受験生本人でなくても構いません。
但し、「基本情報入力」画面では、
必ず受験生本人の情報を入力してください。

Web申込みの際に、
支払いに利用するカードを選択
↓
画面の指示に従い、
支払手続を行ってください。

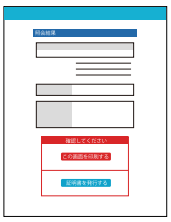
**支払い完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された「受付番号」と「生年月日」を入力して【収納証明書】を~~印刷してください。~~PDFにして出願システムにアップロードする。**

※プリンタのある環境が必要です。

## 3 出　願

### 【コンビニエンスストア以外でお支払いの場合】

支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力し、照会結果を~~印刷して出願書類に封して出願。~~PDFにして出願システムにアップロードする。



＜注意＞
スマートフォンでお申込みされた方は、
プリンタのある環境でご利用ください。

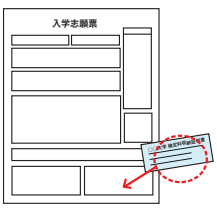
※当サイトにてお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印」は不要です。

### 【コンビニエンスストアでお支払いの場合】

「入学検定料・選考料 取扱明細書」の~~「収納証明書」部分を切り取り、入学検定料収納証明書貼付台紙~~の所定欄に~~貼る。~~
をPDFにして出願システムにアップロードする。




※「収納証明書」を糊付けする際には、糊本体の注意書きに
「感熱・感圧紙などを変色させる場合があります」と記載
されている糊はご使用にならないでください。
「収納証明書」が黒く変色する恐れがあります。




※コンビニでお支払いされた場合、
「取扱金融機関出納印刷」不要です。

### ⚠ 注意事項

●出願期間を要項等でご確認のうえ、締切に間に合うよう十分に余裕をもってお支払いください。

●支払最終日の『Webサイトでの申込み』は23:00まで、店頭端末機の操作は23:30までです。クレジットカードの場合、Webサイトでのお申込みと同時にお支払いが完了します。23:00までにお手続きしてください。

●「入学検定料払込」についてのお問い合わせは、コンビニ店頭ではお答えできません。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●カード審査が通らなかった場合は、クレジットカード会社へ直接お問い合わせください。

●一度お支払いされた入学検定料は返金できません。

●セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いの方は、支払完了後、E-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、【収納証明書】を~~印刷して出願書類に貼付してください。~~PDFにして出願システムにアップロードしてください。

●「申込内容照会」で収納証明書が印刷できるのは、セブン-イレブン、ローソン、ミニストップ、ファミリーマート以外でお支払いされた場合に限ります。

●入学検定料の他に事務手数料が別途かかります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

●銀聯でお支払いの方は、パソコンからお申込みください。
（携帯電話からはお支払いできません）

●取扱いコンビニ、支払方法は変更になる可能性があります。変更された場合は、Webサイトにてご案内いたします。

**【記載例】**

令和　　年　　月　　日

九州大学大学院システム生命科学府長　　殿

○　○　大学　○　○　学部
学部長　○　○　○　○　　印

# 推　薦　書

下記の者を、令和９年度九州大学大学院システム生命科学府修士課程学生募集要項（学部３年次在学生を対象とする特別選抜）出願資格に該当する成績優秀である者として推薦します。

記

在学期間　　令和○○年度入学、令和○○年３月末日で○○ヶ年

氏　　名　　○　○　○　○

要　　件　　３年次末までの必要な単位を修得する見込みであること。